

くらしを守り、 未来を育てる。

熱海に住まう人々が
くらしの**豊かさ**、未来への**安心**、
政治への**信頼**を**実感**できるような
輝かしい**令和の時代**となるよう、
橋本一実は、もう一度、原点に立ち戻って
市政推進に全力を尽くします。

熱海市議会議員候補／無所属／元県議・元市議

橋本かずみ

【頒布責任者】中山幸男／熱海市桜町15-5【印刷者】株式会社木村印刷所／熱海市水口町4-19

証 紙

橋本かずみ公式ホームページ <http://hashikazu.org>

■市議3期、県議2期を経て

17年前の平成14年、初めて熱海市議会議員となり、市議3期、県議2期を務めさせていただきましたが、4年前の県議選において落選し、4年間の浪人活動となり、その後の2年間は、お隣りの選挙区にはなりますが衆議院議員の秘書として、複数市町の取り組みを学んでまいりました。そのなかで、熱海市を客観的に見つめることができ、改めて熱海市の素晴らしさを感じた次第です。

■かすかな声をしっかり市政に

いま熱海市は、宿泊客が年間300万人を超える観光復活を果たし、熱海駅前にはぎやかさを完全に取り戻しました。これを持続的なものとし、市内の回遊性をもっと高めて全市的な経済活性化を図り、350万人、400万人へと伸ばしていかなければなりません。

一方で、私は清水町バス停前で街頭演説を定期的に行っていますが、その場で多くの方々から「正直、豊かさを感じられない…」、年金で暮らしているという方からは「物価が高くて…」との声を都度いただいています。

また、子育てしやすい街かという点、保育園はまだ待機者があり、待機とまではいなくても、きょうだい別の園を

余儀なくされるケースもあり、幼い子供を預けて「安心して働きたいけれども…」という状況です。

また、私たちの親、お祖父さん、お祖母さんが特別養護老人ホームに入ろうとしても、1月1日現在の県発表値によれば、238人の方がすでに待機者となっています。これは延べ人数で、複数施設に申し込みをされている方もありますので、実数にしますと102人の方が特養に入りたくても入れない状況にあります。このような状況を改善するとともに、そのサポートのためのグループホーム、老健などの拡充を進めていかなければなりません。

■令和時代の熱海に向けて

新しい元号「令和」が決定され、5月1日をもって改元、新たな時代の幕開けを迎えることとなりますが、私自身も、市議3期、県議2期、国会議員秘書の経験を活かし、自らの政治活動の原点である市政の場において、ゼロからのスタートを期したいと思います。

この熱海に住まう人々が「くらしの豊かさ」「未来への安心」「政治への信頼」を実感できる、そんな輝かしい「令和の時代の熱海」にしていくため、身を賭して努力と行動を重ねて参りますので、橋本かずみに一票をなにとぞよろしくお願いいたします。

橋本かずみ選挙事務所 〒413-0021

熱海市清水町14-4 (清水町商店街)

電話 81-7755

初めに立ち帰り、誠心誠意 全力で頑張ります。橋本一実

熱海に住まう人たちのために、あなたの一票で、橋本かずみを走り回らせてください。

市民の豊かなくらしと、 熱海市の未来のために

定住人口の増加、高齢化率の低下に向けて、雇用機会増と人材確保につながる施策を。

- 来熱客の市内回遊性を高める全市的な経済活性施策の推進
- 地元就労機会増と人材確保のための各種の支援策の展開
- 転入促進を図るための、子育て世代への分譲など移住に関する各種優遇策の展開
- 新幹線停車駅を武器とした、企業等の誘致促進や、通勤者バックアップ等の展開と広報宣伝のさらなる強化
- 熱海版リゾートオフィス、クリエイターオフィスの誘致策(温泉・自然・気候・首都圏からのアクセスを活かした施策)の展開

次代を担う子どもたちと、 その家族のために

次代の熱海を担っていく子どもたちが、健全に育ち、学べ、郷土熱海を誇りに思える教育環境づくりを。

- 子育て支援施策のさらなる充実、あらゆるサービスで「待機ゼロ」を
- 地元の高校「熱海高校」のさらなる魅力度アップや教育環境向上のための支援
- 小中学校でのICT積極活用と「ネット危険回避」教育
- 郷土熱海の歴史・文化・芸術をさらに掘り起こして、故郷の誇りにつなげる教育の推進
- シニア世代の経験や知識、技能を、青少年育成により活かすことができる環境や機会づくり



安心してくらすことができ、 安全に集えるまちに

誰もが安心してこの熱海にくらしていけること、安心して熱海を訪れることができるように。

- 特養待機者解消をはじめ、介護支援事業・障がい者支援・児童福祉等、各福祉施策のさらなる充実
- 高齢者や青少年を狙った卑劣な犯罪の撲滅のために、国・県・市・民間が一丸となった取組の強化
- 災害時に、陸の孤島化に陥らないためのアクセスやライフライン等の基盤整備
- 外国人観光客の受入態勢の充実と、スムーズな受け入れ促進に特化した新しいビジネスの創出

市民から、より信頼される 市議会を目指して

市民から、信頼される市議会、わかりやすい、市民の視点から見て納得してもらえる市議会としていくために熱海版「議会基本条例」を。

- 市民が気軽に体験・参加することができる「議会報告会」や「意見交換会」を、議会側が主体となって設け、市民との対話や「プロセスの公開」の実現を条例によって目指します。
- 議員同士の自由闊達な討議を行ったり、請願や陳情で提出者が意見を述べたい場合は、その機会を条例で保障できるよう目指します。

橋本一実(はしもと・かずみ)

●1964年(昭和39年)10月20日生まれ、54歳●熱海市清水町5-17●県立熱海高校卒●熱海市議会議員3期●静岡県議会議員2期●衆議院議員秘書●熱海高校同窓会みどり会会長●熱海市交通指導員

4月21日投票の熱海市議会議員選挙には、橋本かずみをよろしくお願いいたします。